

・2016年の国際学会および全国学会（地方会・研究会は除く）

1. Umebayashi D, Yamamoto Y, Nakajima Y, Hara M. O-arm Imaging and Navigation Systems for Transvertebral Anterior Cervical Foraminotomy. Global Spine Congress 2016. 4. 16 (Dubai)
2. Umebayashi D, Yamamoto Y, Nakajima Y, Hara M. Difference between minor traumatic and non-traumatic osteoporotic vertebral compression fractures. 2016. 5. 31 (Krakow)
3. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 神経外科医としての基本手技となるべき経椎体神経根除圧術. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
4. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 腓骨神経絞扼障害と腰椎病変. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
5. 梅林大督, 山本優, 中島康博, 原政人. 頸椎 key hole surgery を基本手技にするために一拡張現実画像の応用— 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
6. 梅林大督, 山本優, 中島康博, 原政人. 皮膚横切開により施行する腰椎分離すべり症に対するPLIFの利点. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
7. 中島康博、梅林大督、山本優、深谷宜央、原政人. 絞扼性腓骨神経障害の病因. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京) (シンポジウム)
8. 中島康博、梅林大督、山本優、深谷宜央、原政人. 腰椎変性側弯症に対するMIST その適応と限界. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
9. 山本 優, 中島 康博, 梅林 大督, 深谷 宜央, 原 政人. 胸腰椎手術周術期における上殿皮神経障害の検討・最良の術後経過を目指して. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
10. 山本 優, 中島 康博, 梅林 大督, 深谷 宜央, 原 政人. 出産後の多発椎体圧迫骨折を来した妊娠後骨粗鬆症の一例. 第31回日本脊髄外科学会. 2016. 6. 9-10 (東京)
11. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折—問題症例—. Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2016. 7. 30 (大阪)
12. 山本 優, 中島 康博, 梅林 大督, 深谷 宜央, 原 政人. 椎体形成部感染の診断と治療に難渋し、悪性症候群など様々な合併症にて治療に難渋した破裂骨折の一例. Summer Forum for Practical Spinal Surgery 2016. 7. 30 (大阪)
13. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 脊椎骨化病変に対する骨化巣摘出手技. 第23回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
14. 中島 康博、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、原 政人. 絞扼性腓骨神経障害に対する評価と管理. 第23回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
15. 山本 優、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央、原 政人. 胸腰椎術後経過の向上を目指した周術期における上殿皮神経障害の検討. 第23回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
16. 山本 優、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央、原 政人. 椎体形成術後感染の搔把にO-arm navigation system が有用であった1例. 第23回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
17. 梅林 大督、深谷 宜央、山本 優、中島 康博、原 政人. 新世代腰椎椎体間ケージのサイ

- ズの選択を極める. 第 23 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
18. 梅林 大督、深谷 宜央、山本 優、中島 康博、原 政人. 骨粗鬆症性椎体骨折における CBT を用いた治療戦略. 第 23 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 2016. 9. 16-17 (札幌)
 19. Daisuke Umebayashi, Yasuhiro Nakajima, Yuu Yamamoto, Nobuhisa Fukaya, Masahito Hara. Finite Element Analysis of Osteoplastic Anterolateral Oblique Vertebrolysis for Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament. Asia Spine 2016. 2016. 9. 22-24 (Seoul)
 20. Masahito Hara, Daisuke Umebayashi, Yuu Yamamoto, Nobuhisa Fukaya, Yasuhiro Nakajima. Clinical examination about poor results especially for leg symptoms in decompressive surgery for intervertebral foramen lesions caused by lumbar degeneration. Asia Spine 2016. 2016. 9. 22-24 (Seoul)
 21. Yuu Yamamoto, Yasuhiro Nakajima, Daisuke Umebayashi, Nobuhisa Fukaya, Masahito Hara. Multifidus muscle changes after posterior lumbar interbody fusion with intraoperative CT and fulltime navigation systems. Asia Spine 2016. 2016. 9. 22-24 (Seoul)
 22. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 脊髄低侵襲手術を確実にするための画像誘導手術—0 arm navigation を用いて—. 日本脳神経外科学会第 75 回学術総会 2016. 9. 28-10. 1 (福岡)
 23. 山本 優、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央、原 政人. 腰部脊柱管狭窄症に骨粗鬆症性椎体骨折を合併した症例の治療方針. 日本脳神経外科学会第 75 回学術総会 2016. 9. 28-10. 1 (福岡)
 24. 梅林 大督、深谷 宜央、山本 優、中島 康博、原 政人. 低侵襲脊椎手術のデメリットを克服するために既存画像支援を最大限に利用する脊椎手術 日本脳神経外科学会第 75 回学術総会 2016. 9. 28-10. 1 (福岡)
 25. 深谷 宜央、中島 康博、梅林 大督、山本 優、原 政人. 頸椎神経根症における神経学的高位診断と画像所見. 日本脳神経外科学会第 75 回学術総会 2016. 9. 28-10. 1 (福岡)
 26. 中島 康博、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、原 政人. 骨粗鬆症性椎体骨折に対する経皮的椎体形成及び後方固定術—骨折高位による治療成績の比較検討. 日本脳神経外科学会第 75 回学術総会 2016. 9. 28-10. 1 (福岡)
 27. 原 政人、梅林 大督、山本 優、深谷 宜央、中島 康博. 腰椎変性疾患による椎間孔病変に対する減圧術の下肢症状改善不良例の検討. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)
 28. 山本 優、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央、原 政人. 腰部脊柱管狭窄症と鑑別が困難であった慢性炎症性脱髄性多発神経炎が疑われた 1 例. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)
 29. 山本 優、中島 康博、梅林 大督、深谷 宜央、原 政人. 神経鞘腫切除術後に合併したハーレクイン症候群の一例. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)
 30. 中島康博、梅林大督、山本優、深谷宜央、原政人. 亜急性期に加療した環軸椎回旋位固定の 1 例～治療法や整復後の保存療法の考察～. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)

31. 梅林大督, 深谷宜央, 山本優, 中島康博, 原政人. 突然発症の下垂足診療における pitfall. . 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)
32. . 梅林大督, 深谷宜央, 山本優, 中島康博, 原政人. BKP と除圧術を組み合わせることにより固定術を回避できた骨粗鬆症性椎体骨折. 第 51 回日本脊髄障害医学会 2016. 11. 10-11 (千葉)